

湯浅兼道筆『源氏物語聞録』「花宴」翻刻

凡例

一、底本は明治大学中央図書館蔵の湯浅兼道筆『源氏物語聞録』（中央貴重書庫092.4/75/H）を用いた。

一、本文は原態に忠実であることを旨としたが、文字の表記について、次のような操作を加えた。

- 1 異体字は通行の字体に改めた。
(例) 昼↓書 寸↓時 畧↓略 虽↓雖 难↓難
- 2 合字は分割して翻刻した
右↓ヨリ メ↓シテ・シタ 下↓コト
- 3 漢字に付された濁点は（ゝ）で表した。
- 4 振り仮名などの傍記は、右側のもを（）で括った。
- 5 本文に傍記されている日付は≧≦で括った。なお丁数が一緒に記されている場合も同様に表記した。
- 6 送り仮名は標準の文字サイズに改めた。ただし、返り点付きの漢字においては、文字サイズを小さくした。
- 7 割り注は「」で括り、文字サイズを標準の大きさに改めた。なお、割り注内の改行は／で表した。

一、反復記号は、ゞ 々々 〳 〴 など、原態に近い形で翻刻した。また、

濁点の付されたヲドリ字は〳〴で表した。

一、豎点の表記は右側のものを「探*韻」（二才）、左側のものを「紅葉」（三才）のように表した。

一、見せ消ち・書き損じ等は、該当本文に二重抹消線を付し、傍書された訂正文字を（）で括った。

一、抹消は●で表した。

一、写本の損傷により判読不能の文字は□で表した。

一、挿入記号は◇で表し、挿入文を（）で括った。

一、一文字空白はアンダーバーで表した。

一、文字に付された傍点は・で表した。

一、和歌の開始記号は「で表した。

一、本文中に見られた「の記号は『で表した。

一、頭注は（〜）で括り、各丁の本文の後に記した。なお、丁をまたぐものは、開始丁にまとめて掲載した。

日	向	一	雅
湯	浅	幸	代
芝	崎	有	里子

※作業は以下のとおり担当した。

(翻刻) 湯浅 (校正) 芝崎 (修正) 日向

なお、二〇一六年度に、湯浅と関恭平(明治大学大学院博士後期課程・

RA) で再修正を施した。

翻 刻

【三八才】

花宴

《九月朔會》

此ナカニ南殿ノ桜ノ宴セサセ玉フト最初ニアル先ニ藤ノ◇(花ノ)宴シ玉フトアルトチラナラント花鳥ニモ論ズ必竟花ノ宴桜ノ宴カハル事ナヒ也花ト云バ日本(ニホン)デハ桜也唐(カラ)ハ海棠モ云牡丹モ云也スレバ桜ノ方近也殊ニ桜ノ方天子ノ宴也先ノ藤ノ宴ハ右大臣ノ家也ドチヘシテモ花ノ宴ハ桜也延喜ニ兩度アル先ハ延長ノ宴ニ模セン歟トモニ二月也アチハ六日十七日也是ハ廿日アマリ也元ヨリ作物語也ソレ程ニアラズトモ也延喜延長ニ模スルトイヘドモソレハ舞樂ナヒ是ハアル是作物語故カレコレ取アツメアル様ニス舞樂アルハ村上ノ時南殿デ花ノ宴アル是ハ延喜後ナレドモ是モ取ル事也延喜二度ハ清涼常寧殿也南殿ニ非ズ南殿ハ村上也是モ後ナレドモ例ニ取事也
○キサラキノ廿日アマリ―延喜延長四(シ)年ニ準ズソレハ十七日ナレドモ是ハ廿日也桜花同事故其号桜ノ宴トセズ花ノ宴トシタ也宴ハ酒宴ノ

〈○蜀デ海棠ヲ花ト云シコト崔林玉露ニ出〉

〈○男女官職私考曰南殿ハ紫宸殿也桐壺ノ卷ニシルシヌ元梅也桓武遷都ノ御

時ウツシ植ラル承和二枯ルヲ仁明改テ桜ヲウエ其後天徳四年九月十三日内裏焼亡桜焼失ス大内造立ノ時重明親王ノ家ノ桜ヲウツサル件ノ木ハ芳野ノ山桜也其後タビ／＼焼時植也〉

【三八ウ】

宴也酒下サル也南殿ノ桜ハ紫宸(シシイ)殿ニアル右近ノ桜也桓武唯今ノ平安城ヘ都移ヨリアル橘ハ前ヨリアル其時梅ヲ植●(仁)明ノ時枯レルソフシテ仁明ノ時新ニ植ガ桜也抄ニハ仁明ノ時植カヘルガ桜歟梅歟知レヌ様ニ書此時ハ桜也清和ノ時ニ又生ズ前ノ根ヨリ生也村上ノ時又枯ナフナル李部王(リハウヲウ)トナリ(記ニ)式部卿重明(シゲアキラ)親王ノ記(家)ニアル木ノ吉野山ノ桜ヲ植ト云ソレ久アラシ當時ノハヒタト焼失シタ故知ヌ也此時ノハ清和ノ時ヒコバヘノ出ル桜ト見ユ后―紫宸殿ノ桜ノ宴天子ハ元ヨリ正面ニアル東宮ト后ト清涼殿ヨリミス左右ニサセテ東宮ハ左后ハ西也左右也マウノボリハ参リ上ル也弘―弘キ殿ハ當時東宮ニ立桐壺ノ帝第一ノミコ源ノ兄ゴ也ソレウムヲ人也二十年以(イ)来ノ東宮女御ト云テアルニエ后ニナラズ後ノ藤壺后ニ立アルマイ事也ソレ故平生弘キ殿残念ナト思也折々ニヲイキトヲリアル也御残念デ平生ハ少々ニ御一坐ナサレネドモ今日ハ御見物故マイリ―ハ桐壺ノスザル御一坐也日―二月ノ廿日比

〈○「橘ハ前ヨリ在也橘大*夫ト云人ソコニナル其橘也〉

〈○橘ハ清和ノ時枯タレドモ根カラ出タ也今ノハ京ノ出火事後植故少イ也南正面ニシテ桜ハ左橘ハ右ニ在也三方明夕御殿也其左右ノ階ノモトニ在也ミハシノモトノ立花ト哥ニモヨム也大火事ハ二十四五年ニナル也左近衛ノ大将左近エノ中将左近エノ少将ヲル故左近ト云右近エ同理也皆板ノ間也コ、ノホウゼウ也ソレニヒエン付ケアル様也正面ニ御(ゴ)ハイアルコハイハ御階ノヤ

ネ也御節會ニハ殿へ天子公卿殿上人皆出也

【三九オ】

春メイタ也ミコハ親王方也カシ達メハ公卿也三位以上宰相以上ノ衆也其道ノハ一文(一)学ニ達シタ人ハ也其道ノ人々(一)ハト云事也皆一ソノ日ノ花ノ宴ニ詩作也探*韻ハサグリ韻ノ事也韻サグルト書也韻字モラウ事也十人アレバ五言ノ名ノ高詩ヲ五言一字ツ、二首トル仄モアル也ソレ取レバソノ句イクツモ字ヲ切テ取故切(キリ)韻トモ切字(キリジ)トモ云今モスル事也フミハ詩ノ事也源氏処々ニ詩ノ事フミト云テアル也又書物ノ事フミトモ云アル也フミノ訓理ヲフクムノ又鳥ノフムノト云ドモ何力定説ト云事シレズ此フミハ詩ノ事ヲ云也宰相一此時分源氏宰相デ中将兼帯正(一)三位也コ年源十九歳也春一是カノ探韻モラヘル時文臺庭上ニ置切(キリ)字ノ韻置テアル天子へ取テ上ルソレヨリミ子タチ段々取也●(天子)へハ二枚上ル其中ヲ心ニ叶ヲ用也其外ハ一字ヅ、取ル也ソレ何字ヲ賜ト云也高々ト云也ソレ故源モ其通作セラル人ト違テミ声モウルハシイ也是源ノ物語故ホメル也春ト云字其日取アテルガ源氏ノ身ノ榮華也ソレシラシテ

(○)酒下サレタベ物モカハリシ者也古例ノ通也庭ニモ段々義式アルソレヲ拝ニ往也内ハクライ也トギヨト云時ハロウカニ見ユル也先へ殿上人松明持往也段々アトヨリモ付行也御節會トハ群臣ニモノ下サレ御酒下サルコト也節會トハ其時節デ會スルノ心也白馬ノ節會今モアル馬出也元日七日十四日はヲ三節會ト云大節會也四方拝ハ天地四方ヲ拝スル也ヲ節會ハ夜也元来昼ナレドモ夜ニナル也雜合ハ公家衆ヨリ鳥出也牛喰舎人コレヲケ合ス也ナンドモナヒ事也

(○)私考曰中宮ノ事桐壺ノ卷紅葉賀ニモ委シルセリ又今世ニハ此物語ト更テ

凡上古ノ如シ云々

【三九ウ】

カウ書也ソノ次ニハ源ニツヅク人ハ頭(ノ)中将也葵ノ兄ゴ也源ノイトコ也コジウト也源氏見ルソノ目ウツシテミルハ外二人ナヒマダモ見処アルハ頭中将也大抵人デハナヒ也此タバナラズメレドノドスマヌ也覚ユベカンメレドイトスグレタリトツ、ケテハ聞ヌ也覚ユベカンメレバスム也覚ユベカンメレバイト也人ノ覚ユベケレバ元ヨリノハツデ目安ト云バ聞ユ是ハドデ句ヲ切也覚ユベカンメレド、句切テイト目安ヨソカラモタバナラズ覚デハアラソノ上へニ心遣シテ安ラカニナサル也アノドノジデアチノ心遣也偕一サテソノ外ノ人々ト云キミ也皆ハ上(カミ)ノ東宮ソノ外ミコ達カシ達メ多アル皆ヲクシタテイ也ニスハナ一人ガキツウ取込也少(チト)取込ハ赤面スキツウ取込バ青ナル青ナレバ鼻ノ先白フ見エル也ソノ事云也地下ノ一此サテノ人々多カリトハ源頭中将ニ并ダ公卿東宮也ソレラソレ也況其下ノ地下ノ文人ハ也公卿サヘソレジャニマシテヤ也地下ノ者ドモハ天子モ東宮モ学文スグレテアル故カ、ル也天子ト東宮ハヲ学文スグレテヲハシマシヌ其外ノ公卿モスグレテヲハシマスサテト入レミル心也カ、

【四〇オ】

ル一是隔句也比ナルニハツカシクト聞エヌ也地下ノ文人ハマシテハツカシク也カ、ル一比ナル故ニ地下ノモン人ハマシテハツカシクトツヅケル也ハルノト庭上ニ文臺ヲイテアル各庭上へ取ニユク晴ガマシイバ也人々見物シテアル也ハシタナクテアマレリツハニウズ高故不相応ニアル也地下ノ者ハソレソレヲ取ニ行一通テ苦イ事アリソムナケレドモレキ、見テアルト思苦シゲ也年一ソノ日ノ年ノヨル学者紀傳(一)道(一)明経(一)道ト云様ナ

儒者ハ堂上デハイヤシイ也是ラサイ／＼出故ヲチツク也天子ノサマ／＼見ル風流ニ面白也樂一更ニ云ニ及又皆リツハナ事也ヤウ／＼一モハヤ晩景ニ及ビ詩ハ作ハテ持テヲル也春一ハ春鶯轉(一)ト云樂ノ名也誰舞ヤ知レヌ也樂人デモ公卿デモ舞也源氏一前ニ紅葉ノ賀ニ源ノ舞事アルソレヲ東宮思召出也春宮一東宮カラ前ノ舞思召出サル故此タビモ舞様ニトカザシハ時ニ臨紅葉デモ花デモ遣也今日ハ花ノ宴ナレバ花ナランゼヒニ所望トセメル也東宮ハ源ノ兄ゴ也時ノ東宮也ノガレ難也

〔四〇〕私考曰春鶯轉樂名考曰抑此曲ハ唐ノ太宗皇帝ノ御作也左方ノ舞壹越調也トイヘリ

〔四一〕同春宮ノ事桐壺卷ニ記カサシハ挿頭花(カサシ)也左方ノ舞人ハ桜ノカサシ右方ノ舞人ハ欵冬花ノカサシヲ用ユ樂道故実抄曰右左トモ右ニ刺(サス)トイヘリ臨時ノ祭ノ使ノカサシハ藤ニテ左ニサス也

【四〇ウ】

セチニハ親切ニ也袖一(ヒト)ヲレトハ樂ハモン句短者也一*返デ置ガ一ヲレ也前ノ人々舞ガ似タ者ナヒ也左一源ノシウト也葵ノ父ゴ也葵ノ上ニ親フナヒ故平生左大臣殿ウラメシク思ニ今日ノ舞ヲ見涙一悦テイ也頭一紅葉賀ノ時モ源トツレ立舞也今源ノ舞故頭中將ナゼ舞ンゾト也サイ促也イヅラハドコヘイタゾ也柳花苑ハ樂ノ名也吉祥天女ノナリニナリ静ニ和ニ舞ト也是當時無ソウ也源ハ一ヲレ舞ニ頭中將ハ今一トハ今少シゲウニ舞也カ、ル一カウシタ事アランカ舞ヘト仰シカト兼テ柳花苑ケイ古シテアルカシテ出来タ也ヲ、ンゾハランキヌ也カミカラノ引出物也上カラ其日ノホウビニ下サル地下デ堂下デ舞バ下サル堂上デ此様ニ舞ニ祿下サルコト稀也ソノ次ニ公卿取／＼ニマヘドモ夜ニ入テハ善悪分ヌ也フミナド一舞スミ其日ノ詩講ズル也フミハ詩也御

ヲバハ御詩ヲバ也講一六ケ敷ヲエヨマヌニ非ズアマレ句ゴトニ面白感ズル故エ先ヘヨンデ行ヌ也ハカセモ感シ其外ノ者皆感ズル也カウ一

〔四二〕イヅラトハドコニゾヘト云事也イヅクニゾト云事也何レノ心ニモ用伊物ニクレナヒニ句ハイツラ白キクノト云ハ何レ也ソウタイラリレロハ付テ云也江戸ハクレロクヘロト云也

【四一オ】

此様ナギヨウウノ時モトカク源氏ヲ其日ノ花ジヤト思召也帝一ヨツテ其日花ト思召故帝モイカデ愚ニ思召ソウウゾ其日ノ様ニ出来(バ)ヘスレバ悦玉フ也中宮一藤壺ノ中宮也御一ハ元ヨリ内々ノ事アル故也春宮一中宮ノ心ニアレ程容ガン美レイニ諸藝通達ナサルニナゼ東宮ノ女御ハ悪事ゾ也ハ親ゴノ更衣カラノシツトカラ也引ウツリニ悪也又今藤壺入魂故猶也我一東宮ノ女御ノ悪モフシギ也我カ様ニ源ヲ思モ心ウイ也ハ思ヌハヅレヤト思ヒカヘス也
○「大方ニ一藤ノ哥也ナミ大抵ノ花ト見テアラバツユハ少也少シモ源ニ心ヲカレヤ露ノ花ニ置様ニ源ニ心カケルト云事也是◇(抄ニ引)ツユナラヌ一ノ心也其趣向デヨム也ヤハソレハワカレヤハセヌ也ソノ哥ハ人ニ語ル哥ニ非ズ誰聞(何)ニ書デト草子ノ地也是作り物ユヘコレ書也上達部一公卿衆モ退出也アカレハワカレ也ワトアト五音通ズワカレ／＼ニ帰ル也后一キン中ヒツソリトシテ也月一廿日アマリナレバ月夜ナカニ出也源一夜フケルモノ静也月ノ面白ヲ見過シ難也

〔四三〕四丁ウ后一玉ヒト句アリ如何日誤也湖月抄ハ句切誤多シ又衍字モアル也

【四一ウ】

又エイ心チデネラレヌ也上ノ一天子ヲトノキノ人々皆ネタ也カウシテ皆人草外思ヒガケナヒ時ニ若藤壺ノヲ目ニカハランカトウソノアルク也カタラウヘキ一ハ王命婦ト云藤ノ召遣ノ女中イツモノ中立也ソレヲモネテアル也タソ息シテ猶一タゞハ止ムマイ也マダ是デモスマヌト云様也万葉ニナヲアラジト云抄ニモ出也コレニモクネンシテアルマイ也モクシテモノ云ズニハヨルマイ也古点ニハナヲアラジトアル仙覚新点ニハモダアラジトアルモノ云ズニハ也王命婦サイテ云也ハタゞハアラジ也藤壺ト弘キ殿トハ筋向也弘キ殿ハ北ヘ少シヨル藤壺ハ南ヘ少シヨル筋向間ハヨ程アル也通ノ七八間モアル也ホソドノハ廊下也サンノ口一此三ノ口知レニクイ也抄ニモ河海ニ弘キ殿一トアリ弘キ殿ハ西向藤壺ハ東向也ソノ前ハ藤壺ハ北ヘツク也西向故前藤壺ハ北也北ヨリ三バン目ノ戸口ハ北ノ戸口ト聞ユ牡丹花咲花ノ説ハ初ノ説ト違也知レニクイ也両説ハ北ヨリ三バン目はハ南ヨリ三バン目ト云委ク弘キ殿知レヌ東ニホソドノアルト云ハ

（○ナヲアラジハダマツテアルマイノ心アリ又止（ヤム）マイト云心モアル也万ノ哥ニ猶アラジトコトノナグサニ云コトヲ聞シルラクヘアラジトゾ思フトアル也抄ノハ違テアル也コトノナグサハナグサメ也モノヲ忘レルキミ也ウキヲナグサムト云キミ也今日ナグサミトハツライ事ナフテモ面白事ラナグサミト云ハ違也心ハ同●事也今日ノナグサミト云ハ樂（ミ）也）

【四二オ】

南カラ三バン目藤壺ヨリナレバ南也後ト知ヌ也口ガ三アルソノ第三バン目也女御ハ一弘キ殿ハ其ノ夜ヲトノキデ藤壺ハ部屋ヘ引故源尋行也弘キ殿ハ参内シテ内ハ留主也ウヘノ一ソノ夜ヲトノキナサレルニ上（ウヘ）ニ各別ニヘヤ

アル也ソレヘ上ル也人一留主多也三ノ戸明ソレヨリ源ハ入り見ルニオクノ枢（クル）戸ヒラク也クル、戸ハアチラヘコチラヘアク様ニシテアル也カ様一此様ナ事デカウシタ事デウソノアルキ又カウシタ無（）用心デアヤマチアル也上リテハソノクル、戸アル処ハ今迄ノ処ヨリ高坐ト見ユ人ハ一皆ヨヒノ人ハ草臥デネタ也一人女クル也ヲカシゲハウツクシゲ也大抵平人トハ見エヌ人クル也オボロ一是ハ古今ノ哥ニ◇（抄引）テリモセズト云哥アルソレヲコンヤ二月廿日アマリ故古イ哥ズンシテクル也古今ニハシクモノゾナキ也ニハエルモノゾナキ也ハ作り物語也ソラデ覺ヲ書ツケル也クルモノカハ此モノハ心ナヒ也タゞバクル也急ギコナタサマニハクルモノカトシ者ヤモノニ聞バヨク聞ユサレトモソレニハ非ズ源氏ウレシクフト袖トル也女ビツクリト

（○五丁ヲモノカハ哉カ如何曰心ナレタゞバクル也）

【四二ウ】

スル也アナムクツケイハヲソロシイ也ナニカ一我ゾ也
○「深夜ノ一コナタコヨヒ夜フケテノ月面白ソウナオホロ月ヨニニルモノゾナキト云コナタ面白ガルハ哀ヲシルモハ女ノ事也ソチラ二月ノ哀シツテ月見ニ出ルハ是手前トソコトオボロケ◇（デ）ナヒ也月ノヲボロ也オホロケナラヌハ大抵ナラン事也オボロ月ニカケタ者也ヤヲラ一前ニヤヲラ上リテトアルソレヨリ抱ヲロス也クル、戸モアキテト云コチヘツレクル也戸ハヲシタテル也是入月スマヌ也廿日アマリノ月也月イトアカウサシイデ、オカシキヲトアル入月スマヌ也入ル月ハ九ニ出テモ明ルヒ昼也コヨヒスグニソコデ入ル月ト云スマヌ也ハ曉近フヨアケニナルアケ方ヲ云也アサマシ一女モアキレタゞタレトモシラヌ也源ノ心ニイトナツカシゲニウツクシソウ也コ、ニ一フルイ

／＼コ、二人アルコイト云也マロハ―源ノ自身ニ我ハ人皆了簡シテアルコンナ処デ好色シテモ人トガメル者ナヒ也ナデウ―ナニ事アランヤカハツタ事エセヌ也イツソダマレト云也ソコデ源ト女シル也ソコデ先

【四三オ】

アンドシタ也此オボロ月ヨニニルモノゾナキト云故コノ女中オボロ月◇(ヨ)トモオホロ月ヨノ内侍トモ云タ也後内侍ノカミニナル是ハ弘キ殿ノ妹ゴ也後ニ源ノ兄朱雀院へ内侍ノカミニ出タ也ワビシ―源ト聞定メアレドスルガキノドクナツライト思ヒ乍モナサケ―ナサケナフニコレヲガイニハ云マイト思也源ニ打ナビク事也ユルサレ―中々ハナシテイナサレハ口(クチ)ヲシイ也女モ―女モ若イ人故タヲ／＼シテテゾイ事シラン也キ人故也一切源ノ心ノマヽニナルガイトシラシイ也心―人ヲキンカト思ヒアハタヽシイ也女ハ源ニ逢事ハアフ也人シランカ又此後ヲ目ニカヽランヤシレヌ故也

《六丁ヲ―九月六日》

△猶ナノリ―不慮ニコヨヒ源ノ朧月夜ニ逢ソノ弘キ殿ノ細ドノデネラレ夜アケル故程ナク―忍事ナレバ人起アフテハトゾンスル故心アハタヽシイ也女ハ―ヨウスサマ／＼思ヒ乱レ源ニ初テ逢フノシモ東宮へ行身也ソノ後源ニ逢ベキヤシレズサマ／＼思ヒ乱タ也猶―サイ前(セン)ドウシタ人ゾト尋タレドモ仰ラレヌ故猶被仰ネトモ猶仰ヨドウシタ人ト承ネバ以来ノブン通セウソク

【四三ウ】

ナラヌドウシテ文通センゾ也カウデーコレバカリテ止ントハ也サリトモハソウアリトモ是限デエヤムマイヤ也

○「ウキ身―朧月夜ノ哥ニ其様ニ委クトカク名乗ント仰也ヤガテハ此マヽ也スグニ也コヨヒノ對面切デソノマヽ死バ也然ハ只今是切デ手前打果ハソノ草

―ハ死シテアト草ノ原ハ葬リ処迄尋ル心ナヒカ尋ル心ナラバコヨヒナノルニ及マイ也コノ哥デ弘キ殿ノ妹トハシルル也詮義スレバシルル也問ハジトヤ思フソレハ聞エヌト云事也ト云サマエンハユウエン也ヤサシイ也断ヤハ源ノ大程御心ジャセンギスレバ知レル事也聞―ハ云タガ●(イ)ゾト也シカナハ聞エン事也聞◇(エタガヘタル)―モジト云説アル非也シカハ先カ様々也其事ハ文ニ書テナケレドモカ様／＼ノ事デヲ兄弟衆モ多アル元ヨリ左大臣殿ノ家ト源トハ表ムキアイサツ悪故右ノ通名ノレト委云シカ／＼ノワケデ尋タト云事也是ラ源ノ中デスマヌ難義ニシテアル事也一説ハシカナトテイヅレゾト、哥デ引ト云説悪也

（○兼道按聞ユ違ヘタル文字ノ説ハ非ナリ聞エタカヘタルモト切也シカナヲ下ヘ付也）

【四四オ】

師説ハシカ／＼ノ事ト云切也哥ヘツゞケヌ也詞ノ中(ウ)デ其断云テシマウ也ツゞケレバ殊聞エハスル也◇(イヅレゾト)御兄弟モ多シ何レゾトワケンマニ其露ハトコニ置アルト尋ンマニハヤ也尋ネヨリドレ／＼ト細(コマカ)ニセンギ業(シ)ワケル心也露ノヤトリリガコザヽ也其露此露トワケン中ニ風吹(フケ)バシレマイ也ナカ悪イ右大臣ノ家故手前カラ尋バヤゴ杯云サハギ事成就スマイ也ワツラハシウ―ソフ尋ル事モキノ毒ニ思召ズハ手前ニハナニカ―大程尋ント也モシ―コヨヒカ様ニ被仰ハ若スカシテモフ逢フマイカトエ云ハタサヌ也アハタヽシクナル故スカスカト云タケレドモソレサヘ云レヌ也エイヒアヘズハ肯(アヘ)テセズ也弘キ殿ノ方ノ人也オキサハギウヘノ―弘キ殿ハコヨヒヲトノキニ行也◇(五丁ヲ)女御ハウヘノ御局ニヤガテモフノボリ玉ヒニケレバト前アル也コヨヒハ南殿ノ花ノキヨ遊ニ弘キ殿ヲト

ノキニ行テアルソレヲ迎ニアチヨリユキコチヨリユクマヨフテ往タリ来タ
リスル也イトーワリナクハセン方ナヒ也切^{*}迫ツマリ扇ーコチノ扇アチヘヤ
リアチノ扇コチヘトル扇取カヘル事唐(カラ)デハ夫婦ニ

〔四四ウ〕
レモコソスレト同テニハ也疑ノナレドモソレヲ打返シテ云也ヤハリサツスル
キミ也
〔○マヨヘバト云中ニ迎ノ人ナレバモドル人アルマイ也如何曰アチニモ人ノ
往テアルハヅ也ソレガ迎ニコイト云テモ来ヌコチヨリ迎ニヤランカト云テ行
人モドリモスベキ也〕

ナルニ媒(ナカタチ)ナク野^{*}合()デ夫婦ニナレバ扇取カヘル事アル也
東坡詩ニ◇(抄ニ引)換^{*}扇ート云事アル春夢婆ハ女也(抄ニ引)泉式部ガ
記ニモカヘル人ノトアル抄ニ見ユ此朧夜ノ扇取カヘル事ハ名高(タカ)●
(ク)何ニモカニモヨク云事也桐壺ー源ノ母更衣ノヘヤラスグニ源モライヲ
ルコヨヒ源ノ往弘キ殿ヨリ間三十間モ四十間モアル也夜フケル故ヲドロクモ
アルト云デマダネルモアルヲ含也カ、ルヲーカクアルヲ也サク^{*}ラノ宴デ夜フ
ケルニ直(スグ)ニアルクハ油断モナサレヌ事ジヤト也ツキシロイー口デエ
云ズ朋輩同士ツキアツテタル也知ヌ顔ニネテタル也入ー源ノヲ床ヘハ入ネテ
ミレドモ朧月夜ノ事思ヒネラレヌ也オカシー朧月夜ノ事ヲ源ノ心ニ思也ヨイ
女ジヤ也女御ノーハ弘キ殿也源ノ兄ゴノ東宮ウム当時ノ女御也ソノ為ニハ朧
月夜ハ妹也コレハ物語也妹ノ事ヲト、云カラデモ妹事ヲ女弟(シヨテイ)
ト云也女御ノ妹四人アルソノ中ナラント也マダーヲトコ持アツタテイニ非ズ
ヨニナレヌ人也五六ノー弘キ殿ノ下(シタ)ニ女ノ兄弟四人アル第二バン第

六バン縁ニ付

【四五オ】

又葦(六)番コヨヒノ朧月夜也帥ノ宮ノーハ螢兵部卿ノ宮ト後ニ云帥(ソツ)
ハ太宰ノ帥(ダザイノソツ)ト云官也太宰ノ弾()正ノ尹也兵部卿式部
卿ハ親王ノ官也此北ノ方ハ第葦(三)バン目ノ妹也頭中将ノ北方ハ四ノ君也
朧月夜ヨリ姉也皆縁ニ付也スサメヌハ頭中将ノ氣ニ入ヌ事也是ラハ兩人トモ
ニヨイ器量ト聞タ也ソレハ人ノ妻ナレドモソレハ却テケクモチツト面白カラ
ン也人ノ妻ナレバ男女ノ事シル故面白カラント也ヲカシハ風流也朧月夜ハ初
テ逢故ヲクシテアル内バン目也姉ナレバコヨイ程ニハアルマイ也六ー六ノ君
ハコヨヒノ朧月夜也東宮ハ源ノ兄也内侍ノカミニ出ヲ云ヲ手カ、ル也東宮ハ
ヲ位スベリ御佛体迄此朧月夜付テアル也東宮ノ為ヲ笑止也疵付テ也イトーア
ルベイカナ也煩ハキノドク也大抵デ尋ネラレヌ也五バン目ヤラ六バン目ノ娘
ヤラ得ト知レヌ也三四デハナヒ也世ナレテアレバナル程ソレハ知レテアルコ
ヨヒハドレ来テアルマイニ非ドモケレドモ世ナレヌヲ見レバ五六ノ中デアラ
ント思テアル也サテーソコデ源ノツク、思ハ此マ、デ絶テ重テ逢マイト思
テ●(イ)ニ非也

〔○七丁ウスサメヌハ用ヌ事也モテハヤサレヌ也八雲御抄ニアル両方ヘカ、
ル男ニステラル事ヌサメラレント云ヌサメルト云テハルイ事ニモ用フル也ス
サメラルト云時ハコウブノ荒ノキミ也コ、ハヌサメヌト云時ハ荒ニモ非也ス
マヌ事也〕

〔○私考曰ソチノ宮トハ太宰帥也親王ナルヘシ太宰府ノ官ノ事粗夕顔ノ卷ニ
シルス〕

〔○同北ノ方事桐壺ノ卷ニクハシク記ス〕

【四五ウ】

ソフデハアレドモイカナレバナゼニフミデモ通スベイ手筋ヲ教ヘナンダゾ也
 コトハフミ也万一サマノ源ノチ、ニクダケ思モソフ思召モ臙月夜ニヲ心ト
 マル故ソフ思召也カヤウ一フリヨニ臙月夜ニヲ逢ナサルニツケテモ也マツカ
 ノ一モ葵上ノ処ト雖ハ藤壺也源ノ内々ノ思召藤アタリハシツカリトシテア
 ル故此様ニナヒ也オクマリハ奥深シテ中々ソシテハハシツカリトシテア
 ヤハ助字也藤壺アタリノ様ナ事ヨソデハナヒ也其日一夜アケル也後宴ハアノ
 方ニハヨクアル事也堂上方ニナンデモ翌日ニスル也大事アル酒宴事アルアク
 ル日ハ後(ゴ)宴トテ酒宴催_北兼(シテ)樂事アル也後宴ト云名目ハ男踏(ハ)
 哥トテ正月十四日歟十六日歟二天子東宮院諸方ウタイ回ル事アルソレニ付ナ
 ンテモ事アル明(ル)日ノエンヲ云也京ニハ近イ節句デモ上下相樂其翌日
 後(ゴ)宴トテ家来モヒマトリ樂也祭デモソレ也節句ノナンデモヨク日又
 上下トモニ相樂也ソノ事也ソノ日ハ南殿ノ桜ノ宴アルソノアクル日也ゴエ
 ンニツキヨフアリソレニマギレル也サウノコト一ゴエンノ日又源ノコトヒク
 也サウノコトハ今

(○男踏哥女踏哥ニツアル也皆正月ノ中也男トウカハ毎年也女トウカハ各年
 也先デ源氏ニヒタト踏哥事出也)

【四六オ】

日ノ十三絃ノコト也昨日ノハ表立公事也是ハ内々ノ後エン故私事デイツソモ
 ノ和二風流也ナマ一昨日ノ様ニキツトセヌ故風流ニ和也藤一弘キ殿ノカハリ
 ニ藤壺参内也マウ一ハ参リ上ル也カノ一ガ即臙月夜也暁出ハ源逢也有明ノ月
 処デアフ故也弘キ殿退出故昨日ノ見物ニケナイノヲバメイ皆ヲ后ノモトへ見

物ニクル弘キ殿ノ妹衆モ皆クルタベヒトヨサトウリウシテケナイネル也源ヲ
 心モウカノシテ思ヒ一良清惟光ハ源ノ出頭也思ヒ至ラヌ事ナヒ功者モノ也
 クマナキハカクレタ処ナヒ也ドコ迄モセンギスル者也二人ヲ門ニ付弘キ殿方
 ノ車ナン両出ゾミヨ也オマヘヨリ一源モ天子ノ御前ヨリ退出也ソコヘ二人ガ
 マイリ来処也唯今一是カ二人ガ詞也北ノデンハ天子ノ御テシヨリ北ニ當ル陣
 (ハ)ノ坐(ザ)ト云アルソレヨリ車帰ル也忍ニイヌル車アル也御一ハ皆弘
 キ殿方ノ里ノ衆其外藤壺ノ里ノ衆ト云様ニ里々(ハ)ヨリクル兄弟親ナド也
 里人ハソノ一ケ衆也四位一即臙月夜ノ兄弟也兼中將(弘キ殿)ノ弟ゴ也臙月
 夜帰ルガ知レタ也此衆

(○私考曰北ノ陣トハ玄輝門是中(ナカ)ノ重ノ北ノ陣也ト花鳥ニみえたり)

【四六ウ】

此処ヨリ出也此車送タ也是ハ内ニ入也門迄ヲクル也弘キ殿四位少将右中弁杯
 送出ガタブン弘キ殿ヲ帰ナルベキ也アカレハ退事也ワカレト云訓カラ出也ケ
 シウ一弘キ殿方ノ車也アヤシウハルイニ非ズ弘キ殿ノ車臙月夜ノ車杯三両引
 ツマキイヌル也ソレナラント思ヒ胸キヤリトスル也イカニシテドウゾ五ノ
 君六ノ君ノ間縫ニ聞タイ也父右大臣殿聞カレキツトムコニセント云ハレルモ
 イヤ也如何ニゾヤソレモイヤジャ也ゲウサン也又一臙月夜ニ逢下モ顔色ドウ
 トシヤトエ見定ヌ也サリトテハサウアリトテシラズニヲラヌ也ハタハ助字
 也ソレモ口惜也如何ニセマシトサマノトツヲイツシアンシテツ、クリト
 シテシアンシテナガメクラシテアル也姫君一はハコ、へ書(カ、)デモ大事
 ナヒ事也紫上此間ハ久也二条院ヘユカヌ也クツシテ待カネアラン也紫上ハ十
 三位也夫妻ノ段ニ非ズ毎日ミマフ事故源ユカネバ屈(クツ)シテアル也源イ
 トヲシク思也カノ扇一臙月夜取カヘテ来タ扇コ、デ得ト見ル也サクラ一檜

(ヒ) 扇也夏ハカハホリトテ紙ノ扇也冬ハ楯

(○) 八丁ウ曰比ニナレバト云ハ往ベキ日比ノ心カ又日比ト云ニテ日ヲヘタル心アリヤ如何日比ヘタル也此間ユカヌト云コト也

【四七〇】

扇也二十八枚五枚也ナンノ為ナレバ女中ハ顔カクサン為也サクラトハ面白ク裏スワウ也桜ノ衣(キヌ)トテ女ノ上ニキルモノ唐衣ノ下(シタ)ニキルト二一重ト云ニ皆キヌノ名アル也表ヲ一ニシテ裏ヲ一ハヒハダ色ト云様也コレヲノサクラ重モフ●(ミ)書モ同事也ウスヤウ一重ハ表シラフニ裏スハウ也ソレヲ桜ノウス様重ネト云表白裏青ナレバ柳ト云夏ハ卯(ウ)ノ花重ト云也衣ノタテト同事也扇ハ上(ウヘ)ノヲヤ骨ト云様ニ上ヘナル一枚ヲソノ紙デ三ドマク也コキ方ニ一ハヒログダナカ也源氏ニコキト云ハ紫敷紅也ハ紫也此雲書キ霞ダ月トテカ、レヌ也ハ紫デ雲書ソコニ月ヲ泥(デイ)ナドウツスリト引バ月ノ霞ム也月ノ水ニウツルモヤウ也アリ来ル扇ナレドモ服刺刀デモ同者デモサシナンヨイハ吉シダラノナレバ悪アル同ジ扇モアラウ持バ見苦也目ナレタ扇ナレドモアジヨクナツカシウ心アツテ持也持様ヨイ也モテ一ハモテナラス也筆一ソノ扇ミルニ付テモカノ女中カイタコトト云テヲ心ニカ、ル故也

○「世ニシラヌ一セ間ニカウシタルイハアルマイ也有明ノ月ノユクエガヲボロ也空一ハ五ノ君敷六ノ君力得ト分シ故エ定ヌコレハセ間ニアルマイ也我得ト逢

(○) 此サクラハウス桜也三重カサネハ三エ包タルナリ

(○) 此類ノコト装束ノ書ニアル也菊重ノ松重ノト云アル也

(○) 私考曰扇ハ杉ノ横目ノ扇也桜ノ三重カサネトハ扇ノ両方ノウヘ三枚ツ、ヲ桜ノウスヤウニテツ、ミテ色々ノ糸ニテトチテ末ヲ淡(アハ)ヒムスヒニ結ヒテタレタリト或抄ニ見エタリ枕草子ナマメカシキ物ノ段ニミエ重ノ扇イツエハアマリアツク成テモトナトニクゲ也

【四七ウ】

女中デ得トシラン故ト云ヲ源ノ扇ニ書付ヲク也大ヒ殿一是カラ筆ヲテンジテ葵ノ方ヘモ久ヲ出ナサレヌト思ドモワカ君一先程ヒメ君トアルソレ也又紫上心モトナヒ也コシラヘ一屈シテアランナグサメントテ紫ノ方ヘ行也ミルマ、ニ一段々ウツクシウナル也アイ一アイソウラシウナリラウ、一上ロウラシウウズ高ナル也各別也アカヌ処一足ヌ処ナヒ御キリヤウト云アジヨクソロウ也足ヌ処ナヒ也源ノ心ノマ、ニ何モカモ教ヘ立ニ叶ベキ也男一是ガ聞ヘヌ也終始源ノソバニ居リ教ル故女ノナカデ教テコソ也男ノ教ナレバシヤレスギント也ソレコソキヅカイ也日比ノヒ比ノ物語コト杯教テ源ハスクニ出也例一又例ノ如ク早フヲ出ナサルトト也トエ心アマル也ト、計云テハ足ヌ也又例ノ如ク出ナサルト紫思召也アトシタハヌ者ト云ヲク故ヨリ合点スル也ゼヒトモムリニコヨヒハドコヘモゴザルナトヲ、セラレヌ也大殿ニハ一是ハ葵上ノ方ヘ行テイツモノクセデフト逢ヌ也ツレ、一源ノ葵出ヌ故サビシク思也臙月夜ノ事モ思出シテアル十三絃ノコトヒイテアル和ニ一是ハサイバラノ哥イ物ニヌキ川ノ一ト云アル

【四八〇】

和ニ一ハ葵上シタシウナサレヌ故葵上ノ事云トソレデモアラン少其心モアラン底ニ臙月夜アル也オヤサクルツマハマシテ是臙月夜也臙月夜ノ事右大臣殿知タニ非ズ必竟右大臣殿承知セン事ト思也ナカサケテ逢セヌ也オト、一葵上

ノ父也ヲト、イノ南殿ノ花ノ宴ノ事也面白事也トコ、ラ—大分ノ年ヨセラレコ、ラハ大分ノ事也天子四代ニ御奉公シテ桐壺ヲ延喜ト見レバ陽成光孝宇多醍醐トアテミル也コノタビノ様ニフミハナン殿ノ花ノ宴ニ何レモ作ル詩ノ事也キヤウザクハモノホメル事也字ハ抄ニ出人ガラノギツトシテ才覚アルヲケウサク、ト源氏ニ尽也宇治ニ薰(カホル)ノ事ナンボモ云アル也形迹ト書形(行)状ヨイヲホメル是ハ詩ノヨイ事ヲホメル也サマ、ニ遣也モノ、ネハ楽ノモノ、ネ也琴、笛ノ類也ト、ノ、ホリハヨクシラベフク也ヨ□—命延様ニ尋シテ也此タビノ様ナ事今迄ナヒト也道—此節楽人ト云詩人ト云ソノ道々ノ上手ノ多時分ニ其中(ウ)デノ上手ト云ヲ御案内ナサル故也ケハユヘ也俗ニソウシテケニト云同事也ユヘ也前モ—是スマヌ事也此柳花苑ト云ヲ左大臣殿ノヲ子頭中将舞ニ祿下サルトアリノシノ子カ孫

【四八ウ】

カ御前(ゴゼン)デ舞ヲマフニ物下サルト其父歟祖父歟庭上◇(ヘ)ヲリ拝スル事アル延喜以前ニ例無事也ハ延喜ニ模シタモノ以前ニ例ナケレバナラヌ也村上天皇ノ時小野宮右大臣セイジン公子歟孫歟モノモライ庭上デ拝スル事アリホド、ハ殆(ホトンド)也例ノナヒ事ヲカウ仰セラルソレデアトデ源ノ柳花苑マコトニ後代ノ例トモナリヌベクミ給ヘシト云事被仰後代ノ例也是ヲ書ハ村上ノ時セイジン公ヲ知テ書也マコトニ後代ノ例トモナリヌト云ハ村上ノ時ニアルニ當(アテン)ハアタル也ケレドモ前ナヒ事故云フ故也コトニ—源ノケン退也カク調ノ文(、)人エリ事ヲ行ニ非也唯—ヲノ様ニ上(カミ)ノヲ事トゾンシテ尋タ也、シウノ訓シレヌ也ソソウト云様也ザツトシタ事也カミヘ云御奉公申サス也隠士ノ引込人ニシラレズ樂デモヨクシ詩デモヨク作也ソレヲドウシテソシウト云カ知レヌ也モノ、師デ楽人ヤ詩人トモノ事也コ、カシコ—デ引込デアル人ト見エル也万—源ヲ左大臣殿ホメル故又コチ

ヲヨリノアイサツニソノ日ノ万ツ万事ノ楽シヨリ柳花苑ヲ頭中将マウガ後代ノ例トモナリヌベキリツハナ事也頭中将柳花苑マフ事前ニアル也マシテ前モホド、マヒ出ヘキ心チスト左大

(○源ノヲセハデト云事也)

(○十ノヲ翁モ—翁モマイ出トハ奥ニ乗シテノ心ニ非ヤ殆ト云心チナレト云ヲ味ハサ様ニ聞エル也如何曰先拜舞也アマレ辱サニ例ハナケレトモマイ出ベシトシテト也)

(○或問曰公ケ事ト云ハ精クスベキニ非ヤ曰ヲ、キナ事也其様ニ久シクナラヌ也)

【四九オ】

臣殿被仰若ソレガ出テ舞バ也マシテサカ行—ハ今延喜ノ時サカヘテアルコナタ立出マハ、世—ハ只今ノ天子ノ御ヨノ面目ナラント也左大臣殿マフ事ナヒニ今マハ、天子ノヲ名弥極ラント也弁—是ハ葵ノ弟也弁ノト、字アルハ悪也弁ト中将ト也皆葵ノ兄弟也セナカヲシツ、ノヨミアレドモセナカヲシツ、也ヲシツケル也カノ—是カラ朧月夜ノ事ヘカ、ル也源ニ一夜逢事ヲ夢ノ様ニ思也又逢ニクイ故也春宮—源ノ兄ゴ東宮ヘヲツ付ミヤ仕也サ来月ハキン中ヘ出バ弥源ニ逢事ナラン也イト—朧月夜ノ心ニ思ヒ乱也源ニ逢レヌガト思也

《十一丁ヲ十月十一日》

△男君モ—花ノ宴ノアトデノ事也カノ有明—是カラ筆テンシテ朧月夜ノ事ニナル也カノ有明ノ君トハ朧月夜ノ内侍『源夜ノ哀ヲシルモ入月ノオボロケナラヌ契ヲ思トヨム入月故アリ明ノ君ト云也暁ノ事故也ハカナカリシ—ハ徹(弘)キ殿ノ細ドノデ源氏ニ逢事朧月夜思出也

（○ヲシツ、ハヲシアテ、ヲルキミ也モタレカ、リヲル也）

【四九ウ】

一夜事故源ノ事思召出サレテモ一返モ逢タイト云心也春宮―朧月夜ハ春宮ハ源ノ兄ゴヲツ付天子ニナルヲ方ヘミヤ仕ノハツ也後上リ内侍ノカミト云タ也ソレガ四月ノ比也◇（コノ）覚シサダメハ親ゴ也卯月比ニ上ゲント父ゴ思ヒ定也元ヨリハヤ上ルガイカウ近ウナル故朧月夜源氏ヲ思ヒ乱也東宮へ上ルト源ニ逢事ナラヌ也男君モ―源モ朧月夜ヲ尋ルニ取ハナシテ知レヌニ非ズ右大臣殿ノ女メゴノウチトハシル也ヲイ先ニ非ズハカハ助字也アトガ無ニハ非也イツレ―ハナル程右大臣ノ女メトハシレドモ何レトハシレヌ也五ノ君六ノ君ノ中テアル何レトシレヌ也コトニ―ハ平生弘キ殿ノ方ト源ノ方トハ中（ナカ）悪也ソシテハ云ヤリ人笑ハレニナランカト思也カ、ヅライハソノ事ニカ、リセンギスルデハ人メ悪事アルカシレヌ也慥ニソノ人知レヌデハナケレドモ家ガラ故思ヒ煩也弥生―花ノ宴ハ三月最初ノ事ト見ユ是ハ花ノ宴スギ弥生廿日何ノジ分也右ノ―ハ内侍ノカミノ父也右大臣殿右ノヲト、ノ也弓―

（○十一丁ヲ人わろく―ワルクトヨムからくト書テアレドモカルクトヨム人磨ト書マルトヨムソレヨリハコレラハナヲワルトヨムベシヘイ生モワルクト云也哥ヲハ字ヲカヘテヨム事ナラズ）

（○同過にたるをニハドコデモヨミケスナリスギンタルヲトヨム也）

【五〇オ】

ケチハムスブ也二人ヅ、ツガヒ弓ノセウブ決（ケツ）ス勝マケテ禄下サル事アル是ハ踏哥ノ後（ゴ）宴トテ正月ニ踏哥トテ若（ワカ）天上人院天王宮方ヲ舞*踏シテ回ル事アルソノ後宴也ソレヲキン中デ弓ノケチスル也コトシ

ハ内々デ右大臣殿ノ方デ弓ノケチ取行内々ノ事也三位以上ノ人也親王方モヨビツトヘル也ソノアトデスグニ三月時分故藤ノ花咲アルソノモトデヨツテ酒筵スル也前ハ南殿ノ花ノ筵是ハ家ノ藤ノ宴也花―花トハ桜也マダ弥生ジ分ハ残ル桜多アル外ハチリスギタレドモコノ家ニ二本残アル也是ハ◇（抄二引）古今ニミル人モナキ山里ノ―ト云哥ヲ心ニ持也外ノチリナン後ゾサカマシト云心持テ外ノチリナン後ゾ咲ケト云タ様ニ誰ゾ教タ様ニ此花残テアル也藤ノ花モアリ桜モ二本残テアル也新―右大臣殿ノ家デケツカウニ新シク作ゴ殿也武家ノ書院ノ様也ヲモヤ也宮―源ノハラガハリノ兄弟前ノ女一女三トアル是也弘キ殿バラノ姫宮ニ人アル也

（○私考曰弓ノケチトハ弓ノ結ナリ左右ヲ結（ツカ）ヒテ勝負アリ愛ニイヘルハ公事ニハアラテ私ノ事也）

【五〇ウ】

其家デモギト云ラスルモギハヲ袴（ハカマ）ギスル也コ、デ袴著ハ若年也女中方ハ年ヨリテモ又幼少デモスル也赤石ノ姫君ハ三歳也玉蔓（タマカヅラ）ハ二十二也女三ノ宮ハ十四也年ニ極リナヒ也ミガキ―下地ケツカウナノニイヨ、結構ニナツタ也ハナ、―右大臣殿ノ家ガラ故トカクモノヲハデニスル家ノ風也様デモ様ニテ也風流ニ今風當*流ニナサル、也源―此弓ノ結藤ノ花ノ宴ナサル、ニ付一日―右大臣殿カ弓ノ結藤花ノ宴ノ時分ヲ出成クレラレヨト云也オハセネバ―宜物榮ハアツタレドモフアイサツ故メツタニユカヌ也クチ―ソレデハトカク一生ノハハ無也源ゴザレバハ有テニギハシト（イト）云ニ付テ云也此覚シテハ右大臣殿思◇（ラレテ）也御―コレハ弘キ殿朧月夜ノ御兄弟也右大臣ノヲ子也
○「吾宿ノ―是右大臣ノ哥也源ヨビニ返ゼラル時ニヤル文（フミ）ノ中ノ哥

也二説アル一説ハ卑下也我尋ハ大抵ヲシナミノセ間テイノ花ナレバヲ出ナサレ下サルベケレドモヲシナメデハナヒ故ニヲ出ヲ待也ヲ出下サレヨ也ヲシナヘテニナレバ待ニ及(ヲヨハ)ズヲ出ナルベケレドモセ間ヨリアシイト云也ソレ悪也ハ自滿也ホコリカナ家故セ

(○私考曰宮タチハ姫宮タチ也御着裳(モギ)ハ或内々ノキ式也但著袴ト同シ日ニモアリ)

(○瞬花ニ哥ヲ人ニヤル故衷心ヲツクヘシト如何曰此様ニヲクヘイニ云テヤルマイ也)

【五一オ】

間ヨリヲシナメテヨリヨイ夜ニテヲ出下サレト云コレヨイ也其趣意先ニテミエル也シタリハデカシダテ也自滿ナ事ジヤトテ笑也哥ハ自滿ノ意ニ見テヨイ也天子ノ源氏へ被仰ハワザト四位ノ少将ヲコス程ニワサトアルメル者ヲ也早フイキ廿(ヤ)レ也女一源へ天子ノ仰セラルハ源ノヲ兄弟ノ女ミコモ出来アル大抵ノ様ニハコレモ思又也マジキヲ我モヲシナメテニハ思又程ニ其方モイキヤレヨト被仰ト云アマス也ナレド、句切テ云アマス也御一是ヨリ源ノ装束事也イト一曰イカウクレテ持一ハチツトアチニマツ程ニチトヲトシ付テ行也サクラノ一キヌノ名也表白裏赤也カラノキハアチヨリ渡ル也キハシヤノルイ也ウスイ也キ衣(ギヌ)ノルイ也ノウシハ上(ウヘ)ニメス者也エビツメハトビ色也ブトウノ様也ソノ上ヘサクラノカラノキノ直衣キテ行也シリヘ裾(キヨ)也下(シタ)カサネナレバソノシリアトヘアマル也ソレヲキヨト云古ハツバイタ者ナレドモキニクイ故ニ切(キル)也丈ハバニハバ也是モ裏アル者也七尺八尺◇(大納言)一丈◇(大臣)一丈二尺モアル也皆人ハ一外ノ客人ハ皆ウヘノキヌヲメス也ウヘノキヌハ位*袍也官ニヨツタ者也五位

ハ赤也四位ハ黒也今ハ四位

(○私考曰桜トハ表白裏エヒナルヲ云唐(カラ)衣ハ直衣ノ表縫ハウスキ織物也コレ唐織物ナレハ文ハ定マルベカラズ直衣ハ冬ノ直衣也又エヒソメノ下襲トハ裏表カケテイヘルエヒ染也本式エヒソメトハ紫ノウスキヲ云ナルニ此下重ニテハ表裏花田トナセリ是紫ノ一艶ヲ裏表ノ色ニワケタル心也此未摘ノ卷ニ記)

(○裾(キヨ)ハ帯ニク、リ付タ者也君ノ前へ出自由ニ働サヌ為也長上下ノ様ナ者也隨身ノソフ人ハナヲシマキアケテアトヨリユク也大臣ハソレ也大中ノウゴンハアトヨリ参タ、ミテ渡ス也ノシノ持テ行時也)

【五一ウ】

以上皆里也源ハメサズ是略也東帯ハゼヒトモ袍也源ハ天子ノ子故ニ略也云バ外ハ浅麻上下デ源ハ裏付ノ上下メシテト云様也皆袍ヲ著キツトスルニ源ハ袍キズ直衣ニ裾引ハアザレタル也アハ付字也ハツゴ也アマシギツトセヌ也ザレタ也ナマナ者ハ和也風流也イツカレハイツキカシヅカレ也イツキハ嚴威嚴格ノ嚴字ヨム也ソウ、() タツハイセラレテ入也ゲニ一源ノ物語故ウルハシイトハ源氏ヲセ間ニ云ゲニ尤ナ各別ナト源ヲ幾タビモ誉也源イルヤウス殊外ウルハシイ故ソノ日ノ藤ノ條ノモヲサル源ノゴザル故花モ外ノヲ客人モ影ナリ却テ不興ニナルトアマレホメテ云也アソビハ樂也夜一クハゲンアツテヨ段々フケテ行マ、ニ也程ニハ間ニ也源ノ酔タ顔シテマキレ一酔タ顔デ其座立タ也シン殿ニ一是先ノ女ミコ達也源氏ノ腹カワリノ兄弟也コノ右大臣ニ出来也コ、デ句切也東一ゴテン也源氏ハ東ノ方也宮立ハ南向ノシンデン也源ハシンデンノ東ノワキニナル也ヨリ一ヨリソフテアル也藤ハ一是隔句也藤ハ一ト云バ東ノ一ニアリ藤ハコナタ一ト云バ源ノヲル東ニ藤アル様也女一ノ宮一

（○私考曰シリイトナカクトハ裾ヲナカク引玉フ也カクノ如ノ時ハ下ハ指貫也コレハ云ニ及ズ枕直衣指貫ニ下襲ヲ具シテ裾ヲ引タマフヲ直衣（ナヲシ）布袴（ホウコ）ト名ヅク其時ハ無久丸軀ノ石ノ帯ヲサシテ蒔絵ノ飾太刀ヲ帯セラル、ヨシ桃花薬杯ニモ見エタリ）

（二〇十二丁ウケヲサレハケシキガヲサレル也ケシキガヲサル也）

（○私考曰ウヘノキヌトハ袍ノ和訓也色ハ紫緋緑其位ニヨリテ変ル、アサレタルオホキミ姿トハ是直衣布袴ノ躰ヲイヘリ花鳥ニシドケナキ心ニヤトアリ又オホキミハ王ノ字也大*人ノ姿ト（ト）云心也ト見エタリ）

【五二オ】

オハシマスト句ヲ切源ハ東ノ戸口一キ玉ヘリト又句切テ藤ハ一トハ女一宮女三ノ宮コザルシンデンノツマニアル也ツマハシンデンノ御簾ノハシ也御殿ギハ也格子アケワタシテ宮立ミル也イデーハミスノソトヘ出ニ非ズミスノソトヘ出テ見ル也袖一女中ソナ晴ナバデモノ見物スレバミスノソトヘ袖出ス也白ニ赤々ト云様二段々ト重ネアゲ外（ソト）ヘ見エル様ニ出ス是ハ著テアルヲ出ス事アリ又ミセ袖トテ各別ニ出ス事アルソナ時二人ニミセル飾（カザリ）也カウシテ内々ノ時ハ袖口杯キツトセズ是ハ立派（リツハ）コノム家故キンリデ踏哥ノ時ハハデ好時故スルコレハワザトシタ也トウ哥ノ折ノ様ニミエル也アマレシスギタ也コトサラ一ト区切テコトサラ一ハアマレシスギタ也フサハシ一ハアノ人ニハ是フサウテトハ相応ナ事也又ヨイ事モ云也今日ハアノ様ニ立派ニセズト、思也藤一源ノ御密通当代ノヲ后也藤ノアタリハソフナイ也ゲンノヲ心シメル処又其上（ウヘ）コレニクラベテハコノ様ニナヒト思召也シ様ヨイ也女中方ノヲル方ヘ源氏ゴザリナヤマシ一気分ナヤマシイ上ニ

（○私考曰袖クチヲ出ス事常ノキナラズ一段ト晴ノ事也コレヲヲシダシト云又打出（ウチデ）ハ一段晴ノギ也古キ畫（クハ）図ニ御簾ノ左右ヨリ袖クチヲ出スアリ是ハ押出ト云ヤ又御簾ノ下ヨリキヌノ妻色々裳ノコンナト出スモアリ是ハ打出ト云ナラン女房ノ居コボル、躰也共ニケシキバカリニコシラト（エ）タル者也雅抄ニクハシ）

【五二ウ】

イトウ酒ヲシイラレシ方ナヒ難義シタ也カシコケレドトハヲソレ多ケレド也女一ノ宮女三ノ宮アルヲソレ多也源氏御兄弟ナレドモアチラハ宮様也源氏ハ氏（ウジ）モライ此節ハ宰相也臣下ノ列也ソレ故ヲソレ多ト云也宮様ノヲマヘニヲ影ニカクレタイモ尊ケウ卑下也ミスヲアタマニカツギ半分内（ウチ）ヘ入ル也アナ一是ハ宮立ノ御（）前ニナル女中ノ口上也女中ノナカヘ源ノゴザル故ヨカラヌ一カルイ者コソヨイ一家ヲ尋ル事アルニ源氏ニハ御フソウ応ナト云也カコチハ一家トテカコツケ近ヨルハゲスノ事也ソノ女中源ノミルニヲモ一ヲシナメテ悪モナヒ也ホメタニ非ズ又悪ウモ云ズ難云ハハデ也源氏ハ藤ノアタリノ様ニツシリトセヌト思召也アテニ一先ヨイ衆ノマヘト著（イチシル）ウ見エル也ソラーソコラノケ色ミルニソラタキモノハバツト短テラク者也ドコニ句フト云様ニ知レヌ様ニ短ラクガソラダキ也ソラタキハウス、ト句ガヨイトソノ時事鈴虫ノ巻ニ女中ドンド、短ヲイヅクノ煙ゾト思ヒ分ヌコソヨケレト源ノ被仰是ハ抄ニ見ユケムタク短ハヨウナヒ也衣ノ一キヌハ粘バリ板バリニシテバリ、スハナヤカニバリ、トキコ

【五三オ】

エル様ニシタ也ハデ好故家ガラデモノゲウサン也源ノ心ニ叶又也心ニクウ奥深（オクフカイ）ト云心ハ立ヲクレ今一ヲクブカイケ色ハナフテ当世メイタ事好アタリ也ヤンコトナキ一ノ宮三ノ宮見物故此戸口ハシンデンノ方ノ

南向ノ方ハ也人ヲ、ク入込故宮達ノ方ヘハコヌ様ニシメタ也サシモ一是カラ源ノ事云也ソウハナサレヌハヅ也コヨヒ朧月夜尋ル事ハドウモ知レマイ事ト両説也源ノ事服ヨリ推量シタ也此中ニサゾ朧月夜ゴザランカドレゾナラント思バキヤリトスル也扇一東ノツマドノ葎(方)カラ也扇ヲ一ハ前朧月夜ニ扇取カヘル事アルソノシルシニ扇一ト云也是サイバラノ哥イ者也本サイバラニハ帯ヲトラレテト云ヲコ、デ帯ヲ扇ニウタイカヘル也ヲ、ギ取カフル故也カラキ一ハツライ事也辛苦ノ辛也ウチ一今云バトボケタ様也帯トアルヲ扇ト哥フ故ニ打忘レタ様ニウタウ也コレハ試タ者也ソノナカニアル女中ガアヤシウ一サマハヨウスノ更タコマウド也扇ノ事シラヌ女中云也コマウドハ高麗(コウライ)人也此石川ハ石川ヤセミノ小(ヲ)川(一)ト云ソコニ高ライ人ヲル也

〈○此二説抄ニノス〉

【五三ウ】

心シラヌ女中ソウナ也イラヘハ一心シラネバコソアヤシウト云也片(カタ)一方ニイラヘハセデナゲクハ嗟歎ノ声故モノ云ネドモケ色ニ見(アラハ)レタ也其声聞エル是ガ朧月夜ナラント源ノ推量也ソレデ源ノ木丁ゴシニ手トラヘル処ガ朧月夜也

○「梓弓一源ノ哥也梓弓ハコヨヒ弓ノケチソノアトノ藤ノ宴故梓弓出合タ也イルサノ山ハ月ノ入ル山也イルサノ山ト云名処タジマニアレドモ是ハソレニ非ズ唯木ノ朧(月ノ入ル)山也迷フナゼナレバ一夜ホノカ井(ニ)見タ影又ミヤウカト一ト入タ山ヲ又株(クキ)ゼマモル兔ト云韓非子ニ出タ様也一ト兔カルクキゼヲ守ト云様也又出シカト思也ナニユヘ一此様ニ迷ハタレ故ニ迷ゾト朧月夜ト慥ニ思故云カケル也又一説ハタゞ時分ナニユヘサタンズルゾト

云也是モ両説也エ忍ヌ一源ハ朧月夜大カインソレナラント思云也朧月夜モ源ソコヘクル故エカンニンセズ返哥シテソウナリ

○「心イル一入サ◇(ノ)山ニマトフ哉ト云迷トラヘ心一也心イルモ弓ノ縁也心ノソコヘ前ツクキミ也ワレニ心アラバ也ナンボ月ナヒト云テモ心ガ手前思召バ月ナヒトテ迷事ナヒ也心ヲシルベニ問クレバ也月ナフテ迷ト云ハ手前思召テクレヌ◇(ノ)ナラント也朧月

【五四オ】

夜哥ゼンタイ上手也前(マヘ)ノ朧月夜ノ声ト知ル也マギレナヒ也イト一マコトニ朧月夜ジャウレシイ也是二位アルウレシケレドモ此バデ返哥処デナヒニト云ト又ハウレシケレドモマダドノ人ヤラ姉ヤラ妹ヤラト云此方ヨイ也

